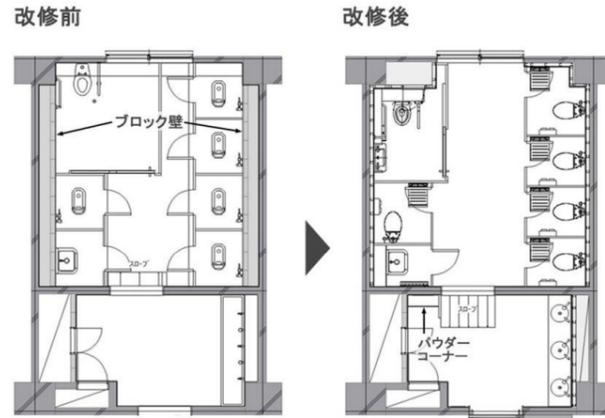


外観



市の木であるケヤキを校章に採用し、校舎の外壁にもモチーフとして使用している。

1F 女子トイレ 図面



配管スペースを隠していたブロック壁を撤去したことで、トイレ空間が広がり、和式便器をすべて洋式便器に変更することができた。洗面コーナーの一角にはパウダーコーナーも設置している。

女子トイレ パウダーコーナー



洗面コーナーの対面の一角にパウダーコーナーを設置(写真右)。出入口の扉の横には、身だしなみのチェックができるように全身鏡も設置している(写真左)。

女子トイレ 掃除用流しブース



掃除用流しブースには、モップ・ほうき・ちりとり・ホースなどを収納するためのモップ掛けパネルを設置している。

改修前トイレ



大便器ブースは1ヶ所のみ洋式便器で、ほかはすべて和式便器だった。壁・床はタイル張り、清掃方法は湿式清掃を採用していた。

女子トイレ 全体



パール調の白を基調とした明るく清潔感のある空間。清掃方法は乾式清掃に変更し、床の段差もなくしている。

女子トイレ 多機能トイレ



1Fの大便器コーナーの1ヶ所に多機能トイレを設置。コンパクト多機能トイレパックの採用により、スペースがコンパクトになり、トイレ全体に自然光が射し込む明るい空間となっている。

給水管



メンテナンス性を優先し、屋外の給水管も露出させている。

女子トイレ 大便器ブース



給水管が露出した大便器ブース。トイレで着替える女子生徒が多いため、すべての大便器ブースにフィッティングボードを設置。女子生徒に好評な2度流しを防止する音姫(擬音装置)も完備している。

女子トイレ 洗面コーナー



水栓金具は感染対策として、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を採用。カウンター下は、ペーパーなどのストックができるように収納スペースとなっている。

建築概要

名称	神奈川県立橋本高等学校
所在地	神奈川県相模原市緑区橋本8-8-1
施主	神奈川県
設計施工	TOTOエンジニアリング株式会社
竣工年月	2013年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>

橋本高等学校は、神奈川県相模原市緑区橋本にある公立の男女共学校。歌人の依万智が国語科の教師として勤務していたことがあり、在職時に校名を短歌に詠み込んだことでも知られている。1978年の開校から築35年が経過したこともあり、給水管からの漏水が激しく、2013年2月～3月にかけて、女子トイレのみ3フロア同時に改修工事を実施した。県の方針もあり、今回の改修では給水管をすべて露出させる露出配管を採用。神奈川県教育委員会によると、「メンテナンス性を高めるとともに、トイレ空間を少しでも広く確保する観点から、県立学校では改修にあたっては露出配管を積極的に採用している」とのこと。

<トイレの特長>

配管スペースを隠していたブロック壁を撤去したことでトイレ空間が広がり、改修前の器具数を維持したまま、すべての大便器を和式便器から洋式便器へ変更。トイレで着替える女子生徒に配慮して、女子トイレのすべての大便器ブースにフィッティングボードを設置した。また、2度流しを防止するため、音姫(擬音装置)も完備。洗面コーナーの一角には、パウダーコーナーも設けている。